

海部地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 平成30年11月20日（火）午後2時00分～午後4時30分
- 2 会場 あま市美和文化会館
- 3 参加者 ・協議会委員 17名
・協議会以外の参加者 39名（子育て関係団体9名、小中学校関係者10名、行政関係者20名） 合計56名

II 日程・内容

1 開会行事・表彰式 午後2時00分～午後2時20分

平成30年度優良家庭教育推進組織等表彰は、絵本の読み聞かせ活動を通じて、子育て中の親子がふれあう時間を持ち、絵本の楽しさ、すばらしさを伝える活動をしている「美和おはなしグループグー・チョコキ・パー」が受賞。

2 事例発表 午後2時20分～午後2時40分

美和おはなしグループグー・チョコキ・パーが、普段の活動、小道具（シフォン）を使った手遊び、大型紙芝居『大きなかぶ』、大型絵本『大きく大きく大きくなあれ』、パネルシアター『魔法の双眼鏡』を実演し、会場を巻き込んだ発表を行いました。そして、四季おりおりの年間の活動の様子を写真を用いて紹介しました。



【子供の心を忘れないように】



【パネルシアター『魔法の双眼鏡』】



【シフォンを使って】



【親子で一緒に！】

3 「グループ協議、情報交換会」 午後2時50分～午後4時25分

<テーマ>

「参加したくなるような親の学び場づくり」
「地域における家庭教育支援活動」

1 グループ

保護者は、発言を求められる会へは足が向かない。まずは参加してもらうことが重要。

成果物のある会は、一緒に活動を行う共有の時間もあり安心して参加しやすい。家庭教育には、親の笑顔が大切であり、親子で参加できる会は、その機会が増える。

2 グループ

身近な施設、場所での参加しやすい事業を実施したい。地域でのふれあいができる事業は友達と一緒に気軽に参加しやすい。学びのある講演会については、参加者から「よかった」という感想が多い。

3 グループ

ものを作る講座は人気である。親子参加にするとよい。「セミナー」と名称を変更したら参加者が増えた。やりがいがあるとボランティアも増え、継続しやすくなる。

4 グループ

親子で楽しめる、一緒に遊べる企画が好評である。地域のつながりがまだない親子が参加できるように季節に合わせた事業を行うとよい。怒っている人は困っている人、「がはは」と笑える講演で笑顔でいられる時間を増やす。



【グループでの情報交換】



【全体会での情報の共有】

4 閉会行事 午後4時25分～午後4時30分

Ⅲ 課題や今後の取組について

事後アンケートによると、事例発表では、「読み聞かせについて工夫次第で大変おもしろくなることが分かった」、「発表を聞くだけでなく、参加もでき、活動内容がより分かりやすく伝わってきた」など今後の活動に参考になるものであった。

グループによる情報交換では、「事業成功のためのヒントをたくさんもらった。各種団体の活動報告会は、価値があると思うし、テーマも大変よかった」「各地域の活動の様子が分かり、参考になった。どの団体も同じ課題に悩んでいることを知り、また、解決方法も話し合うことができ良かった」等、各市町村の枠を超えた有意義な情報の共有ができた。次年度に向けて、テーマや参加者について今後、検討し、市町村が対応しやすいよう啓発していく必要がある。